

ISSN 0385-8367

近畿大学医学雑誌

第四十四卷

第三・四号

(105~152)

令和元年十二月十八日発行

Medical Journal of Kindai University

近畿大学医学雑誌

第44卷 第3・4号 2019

近畿大医誌

Med J Kindai Univ

近畿大学医学雑誌

第44巻 第3・4号 2019

目 次

巻 頭 言

近畿大学医学部の医学教育：理想と現実の狭間で何をすべきか……………松村 到

総 説

低侵襲弁膜症手術……………坂口元一 109

シリーズ 最新のがん

遺伝性腫瘍と遺伝カウンセリング

……………西郷和真, 荒木もも子, 加藤美実乃, 板垣あい, 池川敦子, 木戸滋子, 坂井和子, 西尾和人,
巽 純子, 田村和朗

113

研修医のための教育講座

消化器癌に対するロボット支援下手術

……………木村 豊, 大東弘治, 安田 篤, 加藤寛章, 上田和毅, 今本治彦, 川村純一郎, 安田卓司 121

原 著

コラゲナーゼ表面処理を行った微細加工軟骨の性状が軟骨再生に及ぼす影響……………末吉 遊 133

モーニングセミナーから

GLP-1 受容体作動薬の導入にて良好な血糖コントロールを得られた肥満を伴う2型糖尿病の1症例

……………小川誠人, 池田 守 147

第78回近畿大学医学会学術講演会

プログラム……………1 A

令和元年度近畿大学医学会賞受賞者リスト……………3 A

抄録……………9 A

第30回(2020年度)近畿大学医学会奨励賞募集要項……………1 S

索引(44巻1・2号, 3・4号)……………151

編集後記……………稲瀬正彦

Author Index (44卷1号～4号)

- A 荒木もも子……………113
有馬智之……………95
- D 大東弘治……………121
- E 榎本明史……………81, 99
- F 福田寛二……………67
福田隆人……………85
二川晃一……………99
- H 濱口満英……………85
濱田傑……………81
東本有司……………67
- I 井口真宏……………99
池川敦子……………113
池田守……………147
石井慧……………9
石橋慧一……………21
磯貝典孝……………9
依田広……………45
板垣あい……………113
一木美穂……………95
井手口直……………17
井上和重……………89
井上智弘……………95
今本治彦……………121
岩永賢司……………67
岩本展子……………75, 81, 99
- K 加藤寛章……………121
加藤美実乃……………113
加藤正寛……………25
川村純一郎……………37, 121
北井怜子……………21
北澤康秀……………85
木戸滋子……………113
木村豊……………121
楠原廣久……………99
工藤正俊……………3
倉田奈央子……………25
康純……………9
近藤宏樹……………95
- M 松永和秀……………75, 81, 99
松本悠佑……………25
虫明聡太郎……………95
村尾佳則……………85
村上貴志……………89
諸富公昭……………9
- N 中井義紀……………99
長田哲次……………75, 81, 99
西尾和人……………113
丹羽幸司……………9
- O 大洞佳代子……………67
岡本慎司……………99
小川誠人……………147
荻野真也……………45
尾嶋さなえ……………21
- 織田裕行……………9
- S 西郷和真……………113
佐賀俊彦……………89
坂井和子……………113
坂口元一……………109
末吉遊……………133
鈴木晴也……………75, 81, 99
鈴木美佐季……………17
- T 巽純子……………113
辰巳陽一……………67
谷崎潤子……………29
田村和朗……………113
徳田貴則……………89
豊留宗一郎……………75, 81, 99
- U 宇井俊貴……………21
上田和毅……………121
上田昌美……………67
上田吉生……………99
歌村翔子……………53
- W 渡邊智裕……………3
渡部亮太郎……………25
- Y 安田篤……………121
安田卓司……………121
家根旦有……………99
巻頭言 光富徹哉……………1・2号
松村到……………3・4号
編集後記 稲瀬正彦……………1・2号, 3・4号

Subject Index (44巻1号～4号)

A	A型肝炎	45	リ・フラウメニ症候群：Li-Fraumeni syndrome	113	
B	爆傷	85	リンチ症候群：Lynch syndrome	113	
	微細加工軟骨	133	ロボット支援下手術	121	
C	智歯	75	S	Sex Reassignment Surgery (SRS)	9
	直腸癌	121		submandibular approach	75
D	da Vinci Surgical System	121		周術期管理 (perioperative care)	99
	Donath-Landsteiner 試験	95		食事摂取率	67
G	Gender Identity Disorder (GID)	9	T	TAVI	109
	GLP-1 受容体作動薬	147		TEVAR	89
	顎下腺 (submandibular gland)	81		体内異物	85
	画像階調	85		多数唾石症 (multiple sialolithiasis)	81
	がんゲノム医療	113		多発性内分泌腫瘍症：MEN I型, MEN II型	113
	含歯性嚢胞	75	U	urokinase type plasminogen activator receptor	
	偽腔閉鎖	89		(uPAR)	53
	義歯の適合	67		ウィルス性肝炎	45
	劇症肝炎	45	Y	遊離皮弁 (free flap)	99
	原発巣推定	29		輸血	95
	原発不明がん	29			
	誤嚥・窒息のリスク	67			
H	破裂	89			
	貧血	95			
	発作性寒冷ヘモグロビン尿症	95			
I	胃癌	121			
	遺伝カウンセリング	113			
	遺伝性腫瘍	113			
	遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC： Hereditary Breast and Ovarian Cancer)	113			
	インスリン	147			
J	自己免疫性溶血性貧血	95			
K	角膜上皮細胞	53			
	角膜上皮創傷治癒	53			
	急性肝炎	45			
	急性肝不全	45			
	経口血糖降下薬	147			
	口腔癌 (oral cancer)	99			
	口腔内外アプローチ (Intra and extra-oral approach)	81			
	コラゲナーゼ処理	133			
	コンパニオン診断	113			
M	Male to Female (MTF)	9			
	Medical approaches for GID patients	9			
	MICS	109			
	MitraClip	109			
	埋伏歯	75			
	慢性B型大動脈解離	89			
	脈圧 (pulse pressure)	99			
	免疫チェックポイント阻害剤	29			
	網羅的遺伝子解析	29			
N	nivolumab	29			
	軟骨再生	133			
	2型糖尿病	147			
P	Psychiatric characteristics	9			
R	Rorschach test	9			

近畿大学医学会会則

第 1 条 本会は、近畿大学医学会と称する。

第 2 条 本会は、医学の進歩発展に寄与し、医学的知識の向上と、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 近畿大学医学雑誌および Acta Medica Kindai University の発行
2. 学術講演会の開催
3. 学術図書の発行
4. その他本会の目的を達成するに必要な事業

第 4 条 本会は、次の会員をもって組織する。

正 会 員 近畿大学医学部に所属する教員，研修医，大学院学生および特別研究生
近畿大学学園の医学部以外の教職員および研究員で本会に入会を希望し評議員会で承認されたもの
近畿大学医学部卒業生

準 会 員 近畿大学医学部に在学する学生

名誉会員 本会の発展に著しい貢献のあった者で、幹事会の提議により評議員会で承認されたもの

特別会員 前記会員のほか、本会の主旨に賛同し入会を希望する医学関係者で評議員会で承認されたもの

賛助会員 本会の主旨に賛同し、本会に援助することを希望するもので評議員会で承認されたもの

第 5 条 会員は、附則に定める会費および入会金を納入しなければならない。

2. 会費を納入した会員は、近畿大学医学雑誌の配布を受けるほか、第 3 条の事業に参加することができる。
3. 準会員は第 3 条の事業に参加できるが雑誌の定期的配布は受けられない。但し学術講演会や雑誌に発表した場合は当該巻号の雑誌を希望により受けることができる。

第 6 条 本会に次の役員をおく。

会 長 1 名 近畿大学医学部長がこれにあたる

副 会 長 1 名 会長が委嘱する

顧 問 若干名 会長が委嘱する

幹 事 若干名 会長が委嘱する

評 議 員 若干名 会長が委嘱する

監 事 2 名 会員中より評議員会で選出し会長の承認を得る

2. 役員任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。

第 7 条 会長は、本会を統轄し、必要に応じて幹事会、評議員会を開催し、その議長となる。

2. 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、これを代行する。

第 8 条 幹事は、幹事会を組織し、本会の会務（庶務・会計・編集その他）を分担し執行する。

第 9 条 評議員は、評議員会を組織し、本会の重要事項を評議する。

第 10 条 監事は、本会の会計および資産などを監査する。

第 11 条 総会は、年 1 回これを開催し事業の報告などを行う。

第 12 条 本会の会則を変更する場合は、評議員会において出席者の 2 分の 1 以上の同意を必要とする。可否

同数のときは議長の決めるところによる。

ただし評議員会の成立は2分の1以上の出席を要する。この場合委任状をもって出席に代えることができる。

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

第14条 本会の事務所は、近畿大学医学部内におく。

附 則

1. この会則は、昭和51年11月1日から施行する。
2. この会則の改正は、平成23年4月1日から施行する。
3. 会費および入会金は次のごとく定める。

	会 費	入会金
正 会 員	年額 3,000円	1,000円
準 会 員	会費, 入会金ともに無料とする	
特別会員	年額 3,000円	1,000円
賛助会員	年額 50,000円以上	

なお、会費・入会金を変更する場合は評議員会において定め、会員にその旨通知する。会費は、年度始めに前納する。

4. 会費未納の場合は、会員の資格を失う。
5. 会長は、編集委員若干名を医学部教員中から委嘱する。

編集委員は、医学雑誌等の発行に関する業務を行う。任期は3年とし、再任を妨げない。

(2019年6月19日改訂)

近畿大学医学会雑誌投稿規定

1. 近畿大学医学会は公式に2種の雑誌を刊行している。その一つは欧文誌の Acta Medica Kindai University (Acta Med Kindai Univ) で、用語は英語とするが、ドイツ語あるいはフランス語の論文も受付ける。他は和文誌の近畿大学医学雑誌(近畿大医誌)で、用語は日本語とする。
2. 投稿者は原則として近畿大学医学会会員に限る。ただし、編集委員会が特に依頼したものはこの限りではない。
3. 論文は医学に関する創意的な原著、総説、症例報告などで、原則として他の刊行物に発表もしくは受理されていないものに限る。
4. 原稿は良質な用紙を用い、本規定および別に定める原稿作成要項に従って作成され、内容と体裁が整っており、直ちに印刷することができる状態のものでなければならない。
5. 原稿の本文の長さ、ならびに図、表、および文献の数は全体のバランスにより制限することがある。
6. ヒトを対象とする研究の報告は、ヘルシンキ宣言の原則にのっとり倫理委員会等の承認を得たものである事を記載しなければならない。また、動物実験の報告は動物愛護の精神に基づき近畿大学動物実験委員会等の承認を得たものである事を記載しなければならない。
7. 既出版の図表などの引用については出版社および著者の承認書を添付し、また個人識別ができる患者の写真を掲載するときは、患者本人もしくは法定代理人の承諾の手紙を添付することが必要である。
8. 投稿の際は、原稿(original)およびコピー(Acta 4部、近畿大医誌3部)ならびに編集委員会所定の連絡票および原稿チェックリストと著作権の同意書を提出する。
9. 共同執筆の場合、近畿大学医学会所定の書式で、すべての共著者が当該原稿の投稿を承認したことを記述した資料を添付すること。
10. 投稿原稿の掲載の可否は、すべて編集長が依頼した担当編集委員及び複数の査読者による査読を経て、決定される。
11. 論文の掲載の順序は、原則として完成原稿の受理日の順とする。ただし、校正等に要する時間によっては掲載される号が変わることがある。
12. 校正は著者の責任において行われる。著者校正は初校のみとする。初校にあっては必要最小限の訂正に止め、行の増減を伴わないよう配慮すること。組版に影響するような大きな修正は編集長の許可を必要とする。指定の期日までに返却されないときは編集委員会の責任校了とする。
13. Acta Med Kindai Univ については、カラー写真の費用は全額著者が負担するものとする。近畿大医誌については、組版代および図版(写真を含む)費用の全額を著者が負担するものとする。また両誌とも別刷についてはすべて有料とする。尚、編集委員会からの依頼論文など特殊な場合の経費については、別途に定める。
14. 特急査読論文として当該年度の3月15日に学位記を授与されるための論文(甲)を8月1日より9月30日までの間に投稿する場合、近畿大学医学会事務室に特急査読料(100,000円)を納付した後に受付される。
15. 発行予定は、Acta Med Kindai Univ では年2号(6, 12月)、近畿大医誌では年4号(3, 6, 9, 12月)とする。
16. 投稿先は〒589-8511大阪狭山市大野東377番地の2 近畿大学医学部近畿大学医学会雑誌編集室(電話072-366-0221 内線3218 FAX072-367-8810 E-Mail henshu@med.kindai.ac.jp)とする。著者本人が持参するか、書留郵便で郵送すること。
17. 「原稿作成の手引」は各巻の第1号に掲載されている。また、必要な場合は編集室に直接申込むこと。
18. 論文の著者および共著者は、当該論文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された論文については冊子体以外の媒体で公開されることを承諾したうえで投稿する。

(2015年3月1日改訂)

編集後記

今年のノーベル化学賞は、リチウム電池を開発した吉野彰さんらに授与されます。喜びの会見の中で、実用化の研究を評価された、企業の研究者の吉野さんが、大学ではしっかりと基礎研究を進めてほしい、と話されていたことも印象に残りました。

さて、本号の巻頭言では、松村学部長が、近畿大学医学部における教育の現状と将来に向けての取組みについて述べられています。理想からは遠い現状ですが、各教員が何をできるか、あらためて考えていく必要があります。総説では、坂口教授が、近年増加してきている心臓弁膜症への低侵襲手術を紹介されています。低侵襲の治療で良好な成績が得られるようになってきています。シリーズ「最新のがん」では、西郷先生が、代表的な遺伝性腫瘍について解説され、遺伝カウンセリングの必要性を強調されています。研修医のための教育講座では、木村先生が、消化器癌に対するロボット支援下手術について、わかりやすく解説して下さいました。ますますの発展が見込まれる技術です。

以上のように、本号も幅広い内容となっています。会員の皆さまに、興味を持って読んでいただけるものと思います。

なお、英文誌の Acta Medica は、今号より online 版だけとなります。

編集長 稲瀬正彦

今年度、御多忙の中 近大医誌と Acta Med Kindai Univ に投稿された論文を査読して頂いた先生方に感謝の意を表して下記にお名前を列記いたします。

芦田 隆司 (血液内科)	重岡 宏典 (救急医学)
伊藤 彰彦 (病理学)	島岡 昌生 (富田林病院 産婦人科)
稲村 昇 (小児科)	高杉 嘉弘 (麻酔科)
上田 吉生 (奈良病院 形成外科)	辰巳 陽一 (血液内科)
大井 豪一 (奈良病院 産婦人科)	濱田 傑 (歯科口腔外科)
岡田 清孝 (医学基盤教育部門)	福田 寛二 (リハビリテーション医学)
奥村 二郎 (環境医学・行動科学)	松岡 弘道 (心療内科)
尾上 雅彦 (心臓血管外科)	松木 充 (放射線診断学)
梶 博史 (再生機能医学)	三井 良之 (神経内科)
北澤 康秀 (救命救急センター)	光富 徹哉 (呼吸器外科)
北野 陸三 (耳鼻科)	諸富 公昭 (形成外科)
小山 敦子 (心療内科)	山内 誠 (形成外科)
坂田 尚己 (小児科)	山本嘉一郎 (富田林病院 産婦人科)

近畿大学医学会役員

会長	松村 到	幹事(会計)	奥村 二郎
副会長	東田 有智	〃 (編集)	稲瀬 正彦
顧問	楠 進	監事	重吉 康史
〃	伊木 雅之	評議員	医学部主任教授
幹事(庶務)	池上 博司		

編集委員会

稲瀬 正彦 (編集長)			
池上 博司	伊藤 彰彦	岡田 満 (モーニングセミナー)	加藤 天美
上裕 俊法	竹山 宣典 (教育講座)	巽 信二	中尾 慎一
中川 和彦	西尾 和人 (シリーズ最新のがん)	宮澤 正顯 (大学院医学研究科シリーズ)	

「原稿作成の手引き」は各巻の第1号にあります。
また必要な方は編集部宛お申込み下さい。

近畿大学医学雑誌

第44巻 第3・4号

令和元年12月4日 印刷
令和元年12月18日 発行

発行人 松村 到
編集人 稲瀬 正彦
発行所 近畿大学医学会

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377番地の2
近畿大学医学部内

印刷所 株式会社 リューブン

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・
出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。